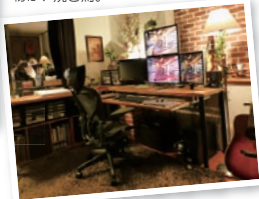


榎本よしたか profile

小平市在住、37歳。1990年、カプコン主催「ロックマン4 ボスキャラ募集コンテスト」にて (Dr. ワイリー賞) 受賞。95年、家具メーカーにデザイナーとして入社。2001年、大阪芸術大学通信教育部デザイン学科入学、'06年卒業。'02年、家具メーカーを退職し、フリーイラストレーターとして独立。現在に至る。児童向けのほのぼののタッチが得意だが、法廷画などのリアル系も手掛ける。最近特にはまっている食べ物は、焼き鳥。

して渡されて、資料と違う髪形で似顔絵を描く仕事を依頼されることがあります。その時に必要なのが、応用のきく画力です。この応用のきく画力をつけるためには、自分の目で見て理解し、写実的に描くことが大切です。好きなイラストレーターや漫画家の真似や写し描きをするのも大切ですが、これだけでは、応用のきく画力はつきません。



画力だけじゃない!! コミュニケーション力も大切

仕事をしていく上で、困ることもいくつかあります。その1つが依頼内容が途中で変わってしまうことです。これはレストランとかでも同じだと思うんです。例えば、和風ハンバーグを頼まれて作ったけれど、やっぱりデミグラスハンバーグが食べなくなったから変えてくれって言われたら、お店の人はもう一度つくらなければいけないですよ。そうしたら材料をまた使うわけだから、当然費用がかかります。イラストも同じです。なので、依頼者に分かってもらえるように、こういうお話をしています。僕の場合はラフスケッチでOKをもらった後で、大きな変更が出た場合には追加料金をもらっています。

機械の操作が思ったより難しく苦戦しました。今回の貴重な体験を通して、榎本さんのすごさが分かりました。すごく楽しかったです!!

(菊池)

▶ 楽しみながら筆を動かす菊池くん。



「みんなも描いてみない?」と、榎本さんが提案。榎本さんが普段使用している作画用のデジタルツールを使って、イラストに挑戦してみました。



CLIP STUDIO PAINT 「クリップスタジオペイント」を使って実践編 「めぐるう」編集員も

ペンの設定、少し変えてもいいですか? (毛)



- ・イケメンだった (菊池) ・絵が上手だった (中村)
- ・気さくな人だった。時々出てくる、市川老蔵みたいな目力が印象的だった。関西弁がすごかった (鍋田)
- ・すごく勉強している人だった (芝)
- ・パツと見、普通の人だったけど、話してみるとすごい人だった (長谷川)



▲最後にみんなで記念撮影。榎本さんありがとうございました \ (^o^)/

▲自宅で榎本さんと同じクリップスタジオペイントでイラストを描いているという毛さん。慣れた手付きで、可愛い「めぐるうち」を描いてくれました。いろいろな人からイラストを描いてほしいと頼まれる毛さんは、完成したイラストを直してほしいと言われた時にどう対処すればいいのかが、榎本さんの話に深く納得。イラストレーターになるには、絵が描けるだけでなくコミュニケーション力も必要だと、実感していました。